

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。



国民平和大行進

今回、国民平和行進の通し行進を努め、この1週間、体力・精神的にも大変でしたが、ミニ学習会や県外からの通し行進者からの体験談では、今まで知らなかった事がたくさんあり、とても貴重な経験が出来ました。

私は、この平和行進で多くの方々から平和の大切さとこれまで沖縄や日本全体で起こってきた事を教えて頂きました。その中で、一番大切だなと思った事は、1人1人がこれまで日本全体で起こってきた事を知り、その事を多くの人に伝えていくという事です。

行進中、沿道からの温かいご声援や、行進に参加して頂いた職員や組合員さんなど、多くの関係者から励ましがりました。とくに大城将伍さん(救急センター)、瑞慶覧長海さん(薬局)、天久ゆうかさん(リハビリ室)の同期3人は、私達5人の先頭で、一緒に旗を持ち、大きい声でシュプレヒコールをしてくれて、とても励みになりました。

平和行進で経験した事を、これからの時代を担う私達世代の多くの人に伝えていきたいと思います。

総務課 高橋敦志

最初の二日は天気が悪く大雨警報が出るほどの雨も降りましたが、3日目からは太陽が出て日差しが強く、やけどといったもいよいよ日焼けもしてしまいましたが、無事最後まで歩ききることができました。

今回の平和行進では辺野古やキャンプシュワブなどニュースや新聞等でよくみる場所を実際に訪れることができました。要所要所ではピンポイント学習ということで平和に関係することを学ぶことができ、とてもよい経験となりました。今回の通し行進で得た貴重な経験を大事にし、今後の平和活動にいかしていきたいです。

医療事務課 新田秋仁

今回、私は入職して初めての平和行進に参加する機会をいただき、不安はありましたが、他の参加者の協力により、1週間の通し行進を無事に最後まで歩ききることができました。これまで平和について考えることはあっても、実際に平和活動に参加することがなかったので、素晴らしい機会を得たと思います。

通し行進中や、休憩場所でのミニ学習会、またいろいろな経験をしてきた方々の話を聞いて、過去に沖縄県民がどれだけ悔しい思いをしてきたのか、またそれが現在も続いているという現状を思い知らされました。沖縄県民として恥ずかしいことですが、過去に宮森小学校で飛行機墜落事故があったという事を私は平和行進を通して初めて知りました。他にも初めて知ったことは多くありましたが、私だけがそうではないと思います。私達が出来たことは、平和行進で学んだ事を、私たちの世代や後輩たちに伝えていくことです。今後そのための行動を少しでもしていきたいと思います。

リハビリ室 徳元竜太郎

かりゆし会 総会 (糖尿病患者会)



6月22日にかりゆし会 第40回総会が、サザンプラザ海邦で行われました。ということは沖縄協同病院の糖尿病患者会が40年も継続されているということです。

昨年度の活動報告、会計報告に続き、2017年度は料理試食会、グラウンドゴルフ交流会や医師協グラウンドゴルフ大会参加、日帰りバス旅行などの活動計画案とともに、今年は高齢者大会にも参加しよう、糖尿病の学習や、体験談の場を設けてほしい、病院援助金も以前より縮小している現状で、新しい豊村会長にも病院利用委員会に参加してもらい患者会の声を届けてもらおうという意見が出され、大盛況のうちに幕を閉じました。41年目の希望をもって患者会活動が出来ますようこれからも多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

外来 重松喜美代

医療講演会「下肢静脈瘤について」のお知らせ

足の静脈がミミズのように浮き出て、小さな瘤ができています。病名は下肢静脈瘤と言います。脚のむくみ・だるさ・こむら返り・色素沈着・皮膚潰瘍などの症状がでます。加齢・立ち仕事・肥満・妊娠などと関係あるようです。

下肢静脈瘤について、その原因・日常生活の注意点・治療法(圧迫療法・レーザー治療)について実演しながら説明会を開きます。

興味のある方、症状がある方は是非ご参加ください。
心臓血管外科 橋本巨 吉川一洋

沖縄協同病院
医療講演会のご案内

2017年
8月6日 10:00-11:00

会場：沖縄風立博物館 - 審議館
(那覇市おもろまち3-1-1)

講演 講演 講演
「下肢静脈瘤について」

講師 橋本巨 吉川一洋
会場 第一
参加 無料

どなたでもお気軽にご参加ください。

TEL: 098-853-1200
FAX: 098-853-1201

沖縄協同病院 那覇市おもろまち3-1-1

家にも熱中症になることがあり、返答なければ超重症です

いっしょに読め

⑬⑩ 集中治療科より

高齢の方の救急搬送事例では普段はお元氣な方達でしたが、自宅でクーラーも入れず暑い中過ごされて運ばれてきています。特に湿度が高いと汗がかけず体から熱をうまく出すことが出来なくなり危険です。また輻射熱(ふくしゃねつ)と言って太陽の熱が壁を伝わり部屋の温度を上げる状況も悪影響を及ぼします。ほてりやめまい倦怠感、何となく元氣がない状態は熱中症の初期症状ですので早めに医療機関を受診してください。

頭張りすぎない、頑らせすぎない、こまめに水と塩分をとる。湿度が高い暑い日は要注意環境であることを是非覚えておいてください。不明な点はどうぞお問い合わせください。

集中治療科 佐久田 豊

暑い季節がやってくる熱中症に対する注意喚起が必要になります。熱中症は高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内での熱の産出と熱の放散のバランスが崩れ体内調整機能が破綻するなどして高温が持続する障害の総称です。名前がよくニュースなどでも出ますので存知の方が多くでしょう。しかしながら後遺症が残るほどの重症となることもあることもよく覚えておいてください。

当院へも若い方から高齢の方まで色々な状況で救急搬送されてきていますのでそのお話をします。

若い方の救急搬送重症事例では、スポーツや労働現場で意識がおかしくなっています。運動に慣れていても当日の環境によっては適度に休憩をとる必要があるということをお本人も現場の責任者も知らなければいけません。風邪薬、鼻つまり薬などを服用しての運動は体温調節中枢障害を併い更に重篤な状態となりますので注意をお願いします。一度指示に従わない状況になったら、急いで救急車を呼ぶとともに、衣服を緩めて水を霧吹きかけ、全身を濡らし涼しい環境を保つようにして下さい。人間の細胞は高温状態で壊れていきまますので急いで38℃にしなければならぬのです。



暑い季節がやってくる熱中症に対する注意喚起が必要になります。熱中症は高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内での熱の産出と熱の放散のバランスが崩れ体内調整機能が破綻するなどして高温が持続する障害の総称です。名前がよくニュースなどでも出ますので存知の方が多くでしょう。しかしながら後遺症が残るほどの重症となることもあることもよく覚えておいてください。

救急車同乗実習



みなさんこんにちは。初期研修医1年目知念央恵と申します。
 わたしは、救急科で研修しながら毎回救急隊の方々から収集してくれた情報に助けられていました。
 救急隊の皆さんは勉強会をしていても、食事をしていても、仮眠時間であっても、どんなときでも救急要請のアナウンスが鳴り響くと同時に救急車に駆け込み現場へと出発します。まずはその動きの速さにとても驚きました。また、現場に到着すると患者さんを落ち着かせることからスタートします。医学的知識もとても豊富で、状態から考えられる疾患を鑑別しながらそこに焦点を当てた問診、診察などをされていてとても勉強になりました。搬送するまでの短い時間でここまでの情報を収集できるなんて本当にすごいなと改めて感動し、勉強になりました。これからも救急隊の方々と力を合わせ、全力で患者さんひとりひとりの力になりたいと思います。このような機会を経験させていただき、本当にありがとうございました。

研修医 知念央恵



6階病棟退院した患者さんからお褒めの言葉がありました。

「下肢静脈瘤の術後で安静しているのが、きつかったが、6階の職員は、とてもいい対応してくれて良かったです。

同じ病室に落ち着かない高齢の方がいて、夜も大きな声を出していたが、何も言わなかったけど、配慮して病室も変えてくれて、気づかいが素晴らしいと感じました。」

この方は元看護師ですが、6階病棟スタッフの対応がよくて、快適にすごせたとお話しされていました。

病院の活動状況 <2017年5月度>

- ・外来一日平均患者数：468（前年同月比 -6人）
- ・入院一日平均患者数：305（前年同月比 -6人）
- ・組合員利用率：55.1%（前年同月比 -0.4%）

眼科診療体制表

○2017年7月より外来体制が変更になります。

柏木るり子医師の外来診療が始まります。

	月	火	水	木	金
午前	新里学 9:00~	柏木るり子 9:00~	新屋雄二 9:30~		新屋雄二 9:30~

《診療開始時間・受付終了時間》

月・火曜日 午前:9:00~11:00

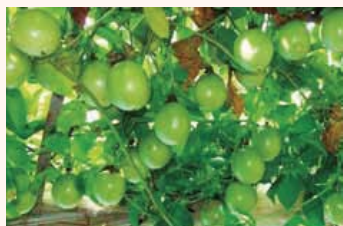
水・金曜日 午前:9:30~11:00



夏の香り オキナワズズメウリ



画・内科医 上原和博



ハルサー 金城稲子

しかし、法案の採決は数が絶対である。これまで三回も廃案になったテロ等準備罪（共謀罪）が数の力で六月十五日に強行成立した。政府は「共謀罪は一般人には関係ない」というが、既にフェイスブック、メール、チャット等、ネット上の個人の通信内容を読む装置を手に入れていると聞く。確実に監視社会へと向かう日本。「共謀罪」法を廃止に追い込むには監視の目を増やして教で勝負するしかない。

六月はパッションフルーツの収穫時期だ。パッションには「キリストの受難」の意味もあり、花の形が十字架にかけられたキリストの姿に似ているのが由来だ。和名は花の形が時計に似ているので果物トケイソウという。その特異な花に魅せられ、去年の四月に十五本の苗を植えた。今年の四月から花が咲き始めた。蜂が飛び交っているが、受粉を確実にするために毎日三百個の花に一月間人工授粉を行った。受粉率は高いが一日花なので雨の日には咲いた花は花粉が流されてためになる。露地栽培は雨のリスクが高く、さらに収穫までの二カ月間で風雨や昆虫の害を受け、九割以上の実がカンパチャーになり商品価値が落ちる。

マンゴーやパッションフルーツ等、実のなる植物はその木から採れる実の量は決まっているという。数を多くすれば実が小さくなり、少なくすれば実が大きくなる。そのため、篤農家は摘果で実を少なくして虫や病気、温度等の管理を徹底して品質向上をめざす。政治の世界でも数が多いと重婚、不倫、不適切発言等、問題を起す小物が多くなるようだ。

ハルサーだより 第一回

パッションフルーツ

医療生協を定年退職して一年半。野菜作りもあたいたぐわーから畑に昇格して、今は毎日腕、肩、腰の湿布薬をお供にハルサー稼業に専念している。時間はたっぷりあるので月に一度は鎌をベンに持ち替えて、畑から月々の情報を発信したい。